

(毎月10日・25日発行)

復興ニュース

93号
2013年
7月10日
メール

発行：NPO 法人夢ネット大船渡
大船渡市盛町字内の目14-15
HP「夢ネット大船渡」と検索を
npoyumenet@bz01.plala.or.jp

於：大船渡市 第三回「三陸海の盆」

出演芸能団体 (順不同)

- 大船渡市
 - ①赤澤鎧剣舞
 - ②仰山流笹崎鹿踊り
 - ③平七福神
 - ④寺町一座
 - ⑤大船渡東高校太鼓部
 - ⑥フラ・カメラア
- 大船渡市以外
 - ①黒森神楽 (宮古市)
 - ②臼澤鹿子踊 (大槌町)
 - ③本郷桜舞太鼓 (釜石市)
 - ④藝道宗演歌舞錬会 (陸前高田市)
 - ⑤崎浜大漁唄込 (気仙沼市)
 - ⑥水戸部鹿子踊 (南三陸町)
 - ⑦青笹鹿子踊 (遠野市)
 - ⑧小府金神楽 (住田町)
 - ⑨河内屋菊水丸 (大阪府)
 - ⑩バンブーダンス (フィリピン出身者)
 - ⑪北湯口舞 (遠野市出身)
 - ⑫束 (大船渡市出身)

犠牲者追悼と復興を願って、大船渡市で開催する第三回「三陸海の盆」の内容が明らかになってきました。地元大船渡市からは赤澤鎧剣舞他5団体、大船渡市以外からは12団体の出演により、三陸海の盆が盛大に開催されることになりました。

当日は多くの市民の皆様のご来場を心からお待ちしております。

◆ 開催日時
平成25年8月11日(日)
10:00~20:00

◆ 開催場所
大船渡市大船渡町字野々田20番地周辺 特設会場
屋台村・プレハブ横丁の道路向い広場

- ◆ 内容
- 第1部 10:00~13:00
大船渡市内芸能団体
 - 第2部 13:00~18:00
大船渡市内外芸能団体 法要
 - 第3部 18:00~20:00
大盆踊り みんなで輪になって



◆ 主催：第三回三陸海の盆実行委員会
委員長：岩城恭治 (夢ネット大船渡)

副委員長：伊藤修 (夢商店街)・及川雄右 (屋台村)
新沼崇久 (プレハブ横丁)・平山徹 (郷土芸能協会)・大関輝一 (みちのくふる里ネットワーク)
金野正記 (さんさんの会)、事務局長：臼澤良一 (遠野まごころネット)

◆ 後援 (順不同)

世界宗教者平和会議・国土交通省東北運輸局・岩手県沿岸広域振興局・大船渡市・陸前高田市・住田町・宮古市・山田町・大槌町・釜石市・遠野市・気仙沼市・南三陸町・東海新報社・岩手日報社・河北新報社・朝日新聞盛岡総局・読売新聞盛岡支局・毎日新聞・NHK盛岡放送局・テレビ岩手・IBC岩手放送・めんこいテレビ・岩手朝日テレビ・FMいわて・FMねまらいん

つどいの丘商店街 夕涼み会! ☆

【日時】 7月27日(土) 16:00~20:00

【場所】 つどいの丘商店街 (陸前高田市高田町)

【イベントスケジュール】

- 16:00~「チームファンタジスタ」による子ども達との遊びの場
- 17:00~ 流しそうめん
- 18:00~ スイカ割り、盆踊り
- 19:30~ 花火



三鉄貸切列車でイベントいっぱい



◆夢ネット大船渡とボランティアの交流会

6月30日、日頃から夢ネット大船渡をご支援して下さっている方をお招きし、三鉄の貸切列車で交流会を開きました。

今回は手芸出品者、夢ネット大船渡で発行している復興ニュース配布ボランティア、手芸講習や三陸鉄道盛駅での行事、被災者支援事業などに携わっていただいている方など40人が参加しました。

貸切列車は午前11時半に盛駅を出発し、吉浜間2時間半の往復でした。

まず、全員でおいしいお弁当を食べ、そのあと自己紹介をしました。吉浜駅では志村けんさんのパネルと一緒に記念撮影。復路ではビンゴゲームをして楽しみました。みんな賞品をもらいました☆

ルと一緒に記念撮影。復路ではビンゴゲームをして楽しみました。みんな賞品をもらいました☆

◆ママサロン こそだてシップさん貸切列車

7月2日、大船渡市の子育て支援団体、ママサロン こそだてシップ（伊藤玲子理事長）が三鉄貸切列車を利用した交流会を開き、生後2か月の赤ちゃんから5歳までの幼児とそのお母さん、約50人が参加しました。出発前、盛駅には大船渡市のマスコットキャラクターおおふなトンと三鉄のマスコットキャラクター三鉄君が登場し、子供たちは大喜びでした。

車内ではお弁当を食べたり、ゲームをしたりしました。最後にホタテ貝の絵馬に『元気にすくすく成長したい』などと願いを書き込みました。

参加した母親は、「子供と2人で通常の列車に乗ると周りの方に迷惑をかけてしまうので今まで遠慮していたが、子供連れだけで貸し切りにしてもらったのでのびのびと楽しむことが出来ました。車窓から見える海に子供が感動していて、参加して良かったです」などと感想を話していました。



★-----*★*-----*★*-----*★*-----*★*



【アレルギー講演会】

6月30日、リアスホールで「子どものアレルギー講演と交流の集い」が開催されました。

この日は、同愛記念病院小児科医師の増田敬さんが「子どものアレルギーと向かい合うための知識」をテーマに話しました。講演後、参加者の交流会と個別相談会も行われました。

アレルギー症状により命にかかわる場合があること、アレルギーを持っている方は毎回の食事に気を付けなければならないことが分かりました。

+:-:+:-:+:-:+:-:+:-:+:-:+:-:+:-:+:-:+:-:+:-:+:-:+:-:+:-:+:-+

【学習机、当選者さんに搬入！】

大阪府富田林市の福地隆史さんが提供してくれた学習机が当選者のもとへ搬入されました。福地さんも各仮設住宅を回り、夢ネット大船渡のスタッフとともに学習机を搬入しました。

子どもたちは、学校から帰宅すると、大きな学習机にびっくり。「頑張って勉強する」などと大喜びでした。福地さんは「直接子供たちの喜ぶ姿を見られて、本当にうれしい」と話していました。



まちかど、こんにちは！！

第3回 陸前高田市広田町 工房 めぐ海（めぐみ）

☆このコーナーでは、気仙地域で震災に負けずに頑張るお店や工場などを紹介します！！



『めぐ海』は、広田半島営農組合野菜加工部（村上豊子部長）が運営しているお菓子工房。材料にはなるべく地元の物を使い、広田産のワカメを使ったおやき（わかめの茎&ほたて、わかめ、白あん、小倉）、がん月などを販売しています。7月から季節限定でかぼちゃ味のおやきを扱う予定。

2010年に完成した前の工房は、東日本大震災の津波で流出。2012年4月に現工房が完成し、「今度こそみんなの工房を目指そう！！」と再出発しました。日々従業員が試行錯誤しながら、おいしい味を追求しています。

工房再建に当たり、大勢の方から多大な支援を受けたそうです。村上さんは「代償を求めない愛のありが

たさを知った。日々努力、日々感謝。これからも美味しいものを作っていきたい」とおっしゃっていました。

おやきは2個で300円。市内5か所（ヤマザキストア広田店・末崎店、黒崎温泉、滝の里のリップル、川の駅よこた）で販売しています。地方発送も受け付けています。注文は出来ればファックスで、めぐ海（Tel/fax 0192-56-4430）へ。

工房は午前7時から午後5時まで、第3日曜日を除き、営業しています。工房でも購入可能ですが、事前に電話連絡しておけばできたての商品を味わうことができます。

短編映画制作ワークショップ

「震災経験を伝えよう、語り継ごう」—タブレットを使って震災経験を他地域や後世に伝える短編映画を作りませんか。当日は東京工業大学 大学院社会理工学研究科の学生がボランティアでお手伝いをします。

【日時】 7月30日（火）～8月1日（木）10：00～16：00

【場所】 立根地区公民館

【スケジュール】

30日：タブレットの操作説明 31日：取材・撮影 1日：映像編集・上映会

【主催】 東京工業大学 大学院社会理工学研究科

NTT ドコモモバイル社会研究所

参加は無料。定員25人（先着順で、定員になり次第締め切り）

申し込み先：夢ネット大船渡 Tel・fax（0192）47-3271（担当 西村）

この一枚！いいね☆

6月27日、アートを通して被災地を支援しているARTS for HOPE（東京都品川区、高橋雅子代表）が大船渡保育園を訪れました。

この日は3～5歳児約100人が参加。園庭に幅10メートルほどのビニールシート2枚をキャンバスにして、園児らは思いっきり絵を描きました。

お絵描きが終わると、園児らは自分たちが描いたビニールシートの中を元気いっぱい駆け回っていました。



【気仙茶の会、茶の苗木を植栽】

気仙茶の会（菊池司会長）は6月26日、会長宅近くの畑に茶の苗木1500本を植えました。作業には、京都府の龍谷大学の学生や特定非営利活動法人NICEのボランティアなど12人が参加しました。

気仙茶の会は、気仙茶を愛する有志が集い昨年11月に発足しました。気仙茶は約300年前からあるとされるお茶で、各地に出荷されていましたが近年は生産量が減少。さらに放射線物質の影響で昨年6月から出荷自粛措置が取られることに…。しかし、措置が解禁となった6月14日、同会では茶摘みを実施。そして今回、苗木を植えて「気仙茶の復活」に弾みをつけるとのことです。苗木は静岡の茶業機械製造販売会社

「カワサキ機工」から提供されたもの。菊池会長は「気仙茶でお茶にかかわっている人が楽しくなれば、今後も精力的に気仙茶を広めていきたい」と意気込んでいます。



五百羅漢を作ってみませんか

「未来への記憶」プロジェクト事務局では、「石で五百羅漢をつくろう」の参加者を募集しています。

同事務局の中心メンバーで、陸前高田市教育委員会の緊急支援サイコロジストの佐藤文子さんは「石を打つことで、石との対話が生まれる。石に思いを込めて叩くことで、苦しくてつらい気持ちを開放できる効果がある。羅漢様を制作する過程で、心をいやしてもらいたい」と話し、参加を呼びかけています。完成した羅漢は普門寺の震災犠牲者慰霊碑に続く道に設置する予定です。

五百羅漢制作は、芸大や美大出身の彫刻家たちがボランティア講師としてお手伝いするので、子供や女性でも安心して参加できます。また、同事務局では被災者のためのアート活動に使う寄付金を受け付けています。

【日時】 8月10日（土）～8月24日（土）9：00～17：00

【場所】 普門寺境内

【費用】 五百羅漢制作 1体

罹災・被災証明のある人1500円 それ以外の人3000円。

【申し込み】 7月22日までに普門寺に置いてある申込用紙を

事務局 〒029-2206 陸前高田市米崎町地竹沢181

普門寺内「未来への記憶」プロジェクト事務局へ郵送してください。

■三鉄盛駅ふれあい待合室からのご案内 連絡先 TEL/fax 47-3542

◆無料法律相談 7月20日（土）14：00～16：00

7月21日（日）10：00～12：00

予約が必要です。仮設住宅へも訪問しますので、予約の際その旨を知らせてください。

◆三鉄 駅からウォーキング 7月20日（土） 午前11時に三鉄盛駅に集合

今月は恋し浜駅から砂子浜を往復 参加費400円（保険料、乗車券代）

弁当・飲み物・雨具等持参してください 締め切り7月17日（水）

◆歌声列車 7月27日（土） 盛駅11：30発 吉浜間往復 盛駅14：00着

会費1,500円（昼食・乗車券代等）締め切り7月24日（水） 好評につき、毎月実施。

ご意見、ご感想お寄せください。
短歌、俳句作品も募集します！

◎どなたでも応募可能です。◎電話、メール、封書でお寄せ下さい。

NPO 法人夢ネット大船渡 *大船渡市盛町字内の目 14-15

*TEL/fax 47-3271 *メール npoyumenet@bz01.plala.or.jp

